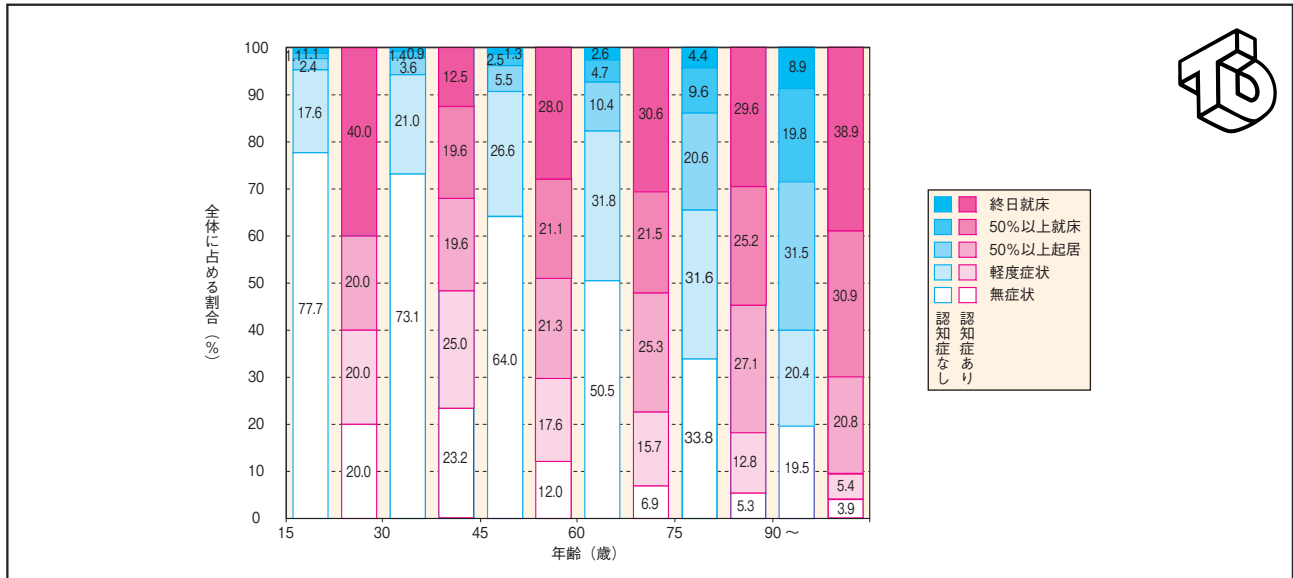


## 4) 生活活動度

### (2) 認知症の有無・年齢と日常生活活動度 (図表32)



#### 生活活動度 年齢別 (施設血液透析患者) 認知症なし

生活活動度	15歳未満	15歳~	30歳~	45歳~	60歳~	75歳~	90歳~	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
無症状 (%)	1 (33.3)	701 (77.7)	8,046 (73.1)	26,725 (64.0)	45,409 (50.5)	14,620 (33.8)	292 (19.5)	95,794 (50.9)	6	95,800	62.15	12.16
軽度症状 (%)	0	159 (17.6)	2,306 (21.0)	11,108 (26.6)	28,534 (31.8)	13,683 (31.6)	306 (20.4)	56,096 (29.8)	0	56,096	66.31	11.34
50%以上起居 (%)	1 (33.3)	22 (2.4)	395 (3.6)	2,310 (5.5)	9,360 (10.4)	8,914 (20.6)	472 (31.5)	21,474 (11.4)	2	21,476	71.52	10.94
50%以上就床 (%)	0	10 (1.1)	158 (1.4)	1,053 (2.5)	4,218 (4.7)	4,140 (9.6)	297 (19.8)	9,876 (5.2)	1	9,877	71.96	11.05
終日就床 (%)	1 (33.3)	10 (1.1)	99 (0.9)	549 (1.3)	2,335 (2.6)	1,924 (4.4)	133 (8.9)	5,051 (2.7)	1	5,052	71.10	11.02
合計 (%)	3 (100.0)	902 (100.0)	11,004 (100.0)	41,745 (100.0)	89,856 (100.0)	43,281 (100.0)	1,500 (100.0)	188,291 (100.0)	10	188,301	65.21	12.24
不明	0	7	41	113	259	149	7	576	0	576	65.14	13.23
記載なし	0	19	183	763	1,558	739	30	3,292	0	3,292	64.97	12.35
総計	3	928	11,228	42,621	91,673	44,169	1,537	192,159	10	192,169	65.21	12.24

#### 生活活動度 年齢別 (施設血液透析患者) 認知症あり (サポート不要+必要)

生活活動度	15歳未満	15歳~	30歳~	45歳~	60歳~	75歳~	90歳~	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
無症状 (%)	0	1 (20.0)	13 (23.2)	76 (12.0)	431 (6.9)	708 (5.3)	50 (3.9)	1,279 (5.9)	0	1,279	74.86	9.77
軽度症状 (%)	0	1 (20.0)	14 (25.0)	112 (17.6)	986 (15.7)	1,712 (12.8)	69 (5.4)	2,894 (13.4)	0	2,894	75.66	8.52
50%以上起居 (%)	0	1 (20.0)	11 (19.6)	135 (21.3)	1,583 (25.3)	3,634 (27.1)	264 (20.8)	5,628 (26.0)	0	5,628	77.73	8.19
50%以上就床 (%)	0	0	11 (19.6)	134 (21.1)	1,347 (21.5)	3,384 (25.2)	392 (30.9)	5,268 (24.3)	2	5,270	78.51	8.59
終日就床 (%)	0	2 (40.0)	7 (12.5)	178 (28.0)	1,920 (30.6)	3,967 (29.6)	493 (38.9)	6,567 (30.4)	0	6,567	77.83	8.83
合計 (%)	0	5 (100.0)	56 (100.0)	635 (100.0)	6,267 (100.0)	13,405 (100.0)	1,268 (100.0)	21,636 (100.0)	2	21,638	77.50	8.69
不明	0	0	1	3	40	97	6	147	0	147	77.85	8.80
記載なし	0	0	0	7	99	204	16	326	0	326	77.63	8.19
総計	0	5	57	645	6,406	13,706	1,290	22,109	2	22,111	77.51	8.69

患者調査による集計

### 解説

施設血液透析患者を対象に、認知症合併の有無及び年齢とADLとの関係を集計した。ここでの認知症合併は、サポートの要不要にかかわらず「認知症あり」と回答された患者としている。

認知症の合併がない患者では、年齢が上がるに従ってADLの低い患者が増加する傾向が認められた。一方、認知症合併がある、と回答された患者では、どの年齢層においてもADLの低い患者が多く認められ、年齢の増大とADL低下との関係はあまり強くは認められなかった。なお、15歳未満については集計対象患者数が非常に少数であったためグラフ上には掲載していない。